

補 機

1. タイミング ベルト交換警告灯

タイミング ベルトは10万km毎の定期交換部品ですので、10万km走行すると計器板の

T-BELT インジケータ ランプが点灯し、交換時期を示します。

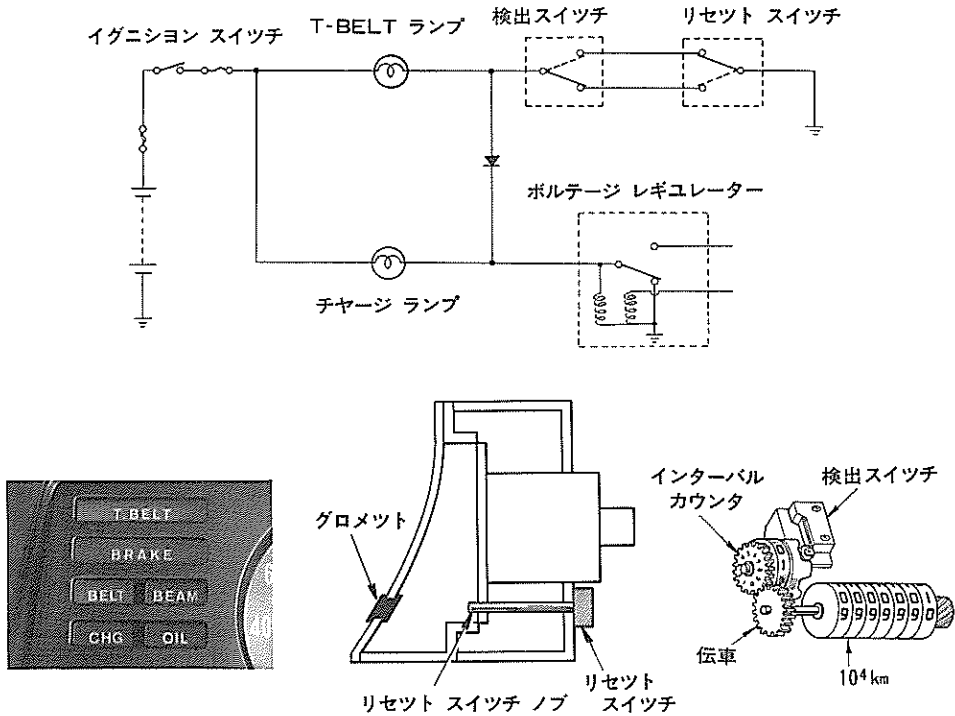


図6-1 タイミング ベルト交換警告灯回路図 A 2082, T 7516, T 7517, T 7518

作 動

- ① イグニション スイッチON時はチャージ ランプと同時に点灯し、エンジン始動後はチャージ ランプと同様に消灯し、ランプ切れのチェックを行いません。
- ② 10万km走行すると検出スイッチが切り替わり、アース回路ができるので **T-BELT** ランプが点灯します。

タイミング ベルト交換後メータのグロメットを取りはずしリセット スイッチノブを押してください。アース回路が解放されるので **T-BELT** ランプは消灯し次の10万km走行後に点灯します。

- ③ インターバル カウンタはオドメータの6桁目(万単位)と連動しており、1万km走行毎に1文字上がる機構です。インターバル カウンタが1回転(10万km走行)するとカムが動き、このカムにより検出スイッチが切り変わるようになっています。

補 機

2. 燃料水分離器水位警告灯

燃料水分離器内の水が規定レベル以上になると計器板内の **FILTER** ランプが点灯します。ランプが点灯したら必ず排水を行なってください。そのまま走行を続けると、噴射ポンプ、ノズルを損傷します。

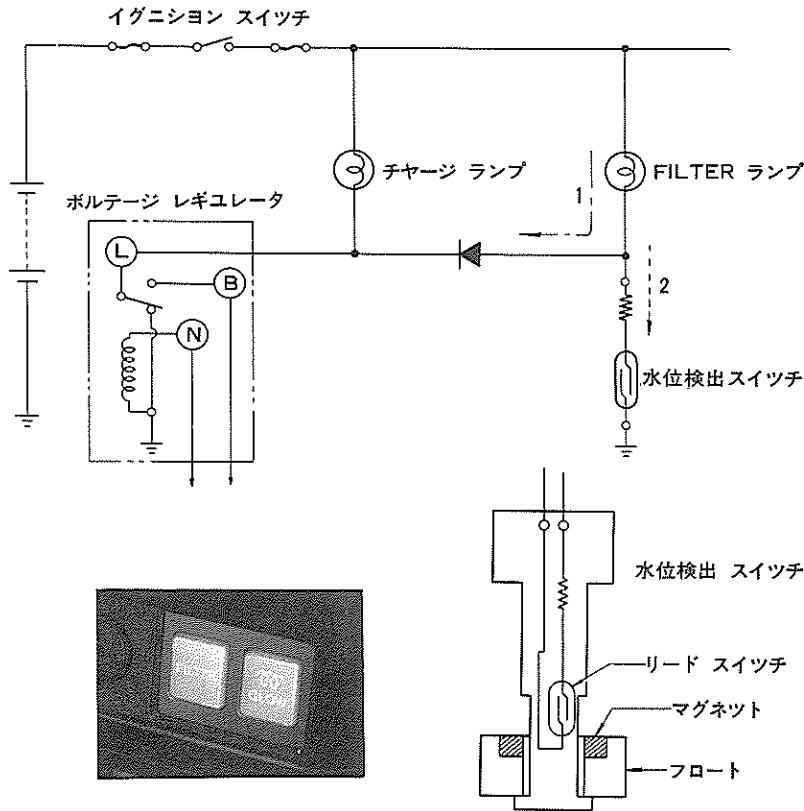


図 6 - 2 燃料水分離器水位警告灯回路図

A 2083, T 3999, T 4000

作 動

- ① イグニッション スイッチ ON 時はチャージ ランプと同時に点灯し、エンジン始動後はチャージ ランプと同様に消灯し、バルブ切れのチェックを行いません。
- ② 水が規定レベル以上になると水位検出スイッチが働きアース回路ができるので、**FILTER** ランプが点灯します。
- ③ 水位検出機構は、水分離器内の水が溜まるにしたがってフロートが浮き始め規定レベルに達するとフロートのマグネットがリード スイッチ部に達しリード スイッチを ON にします。

補 機

3. 制動警報装置

制動警報装置は従来 of ブレーキフルード量のウオーニングシステムにブレーキブースタバキュームウオーニングを追加しました。バキュームスイッチはブースタに取り付けられており、ブレーキブースタのバキュームが300mmHg以下になると作動します。

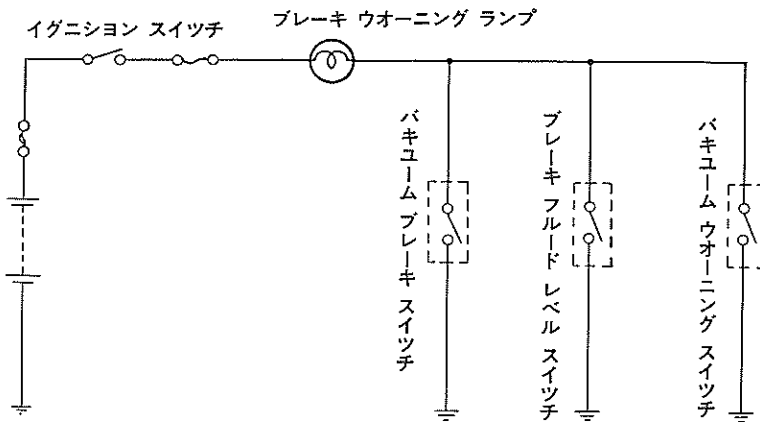


図 6-3 制動警報装置回路図

T7519

4. バッテリ

始動時特性の良いNX110-5L(65AH)をM/T車に、NX120-7L(80AH)をA/T車に標準設定とし、寒冷地オプションとしてNX120-7L(80AH)を設定しました。